

## 福岡教育大学生協 サポートセンター (1)



[ 新学期 ]

### 取り組み概要

日時：12月21日 (土)  
場所：大講義室 大1教室、食堂  
参加者数：20組

- 背景や概要：
- 推薦選抜1で入学された学生へ向けに行われ
- ました。訪問が2回目の私も今回のサポートセ
- ンターで、福岡教育大学での学生生活の解像
- 度がとてもあがりました。

教育大学ならではの詰まったサポセン

### POINT.1

### 参加者に寄り添ったアドバイザー



↑参加者をご案内中

受付が終わった参加者1組に対して1人のアドバイザーが担当し、席まで案内していました。説明会前にオルゴールの音楽とともに提起のスライドが自動的に変わるようになっていて、**参加者が飽きないような工夫**が見られました。また、後ろに展示ブースがあることをしっかり伝え、見に来てくれた人には丁寧に説明をしていました。

さらに、提起内容によって使用するパンフレットも変わるため、アドバイザーが定期的に参加者の周りを歩きながら、正しいパンフレットを見られているか1人1人確認していました。

### POINT.2

### 学生目線を大切に！

学生生活実態調査などから食生活や共済の給付事例の**データを用いた、学生生活ベースの説明会**となっていました。説明会の時間も90分で、大学の講義1コマと同じ時間を体験してもらうための時間設定となっていました。スライドも写真が多く、実際の学生生活を想像しやすいものでした。タヌロー紹介やリ・リパックのフィルム剥がしの実演など楽しいコンテンツも用意されていました。

また、多くの教員を輩出している大学であるため、**入学前から教員を意識した説明会**となっていました。住まい・防災についての「学校の先生になれば、子どもの命を守らなければなりません！まずは、自分自身の防災意識から！」という言葉が印象的でした。



### POINT.3

### 入学前から大学4年間の学生生活を意識



↑リ・リパックのフィルム剥がし実演中

入学準備に必要なものだけではなく、大学入学から4年間どのようなスケジュールで日々を送っていくのかなど学生生活が細かく説明されていました。大学での時間割、子どもと関わることができるボランティアについて、教員採用試験について、アルバイト中心の生活に対する注意喚起、教育実習についての深掘り、大学1年生になる前から就職活動についての話などもされていました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！  
ブロック学生事務局 [ 平野昌美 ]  
Hirano.Masami@univ.coop

## 福岡教育大学生協 サポートセンター (2)



[ 新学期 ]

### 取り組み概要

日時：12月21日 (土)  
場所：大講義室 大1教室、食堂  
参加者数：20組

- 背景や概要：
- 推薦選抜1で入学された学生へ向けに行われ
- ました。訪問が2回目の私も今回のサポートセ
- ンターで、福岡教育大学での学生生活の解像
- 度がとてもあがりました。

教育大学ならではの詰まったサポセン

### POINT.4

### アドバイザーと職員の関わり



↑職員さんからお話ししています

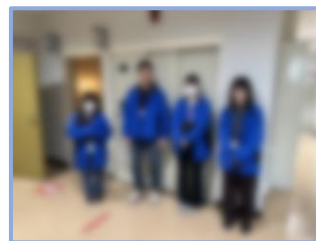
共済のしくみや給付事例などは学生から話し、加入プランは職員から話すなど、**学生と職員のそれぞれの強みを活かした提案**がされていました。

さらに、パートさんは必ず1回は説明会に参加するようにされています。アドバイザーの頑張りの、**新入生への提案がどのようにされているのか**を見てもらう機会を設けていました。

### POINT.5

### 専務からアドバイザーへ

「商品の説明を一生懸命話すのではなく、先輩として後輩に伝えたいことや、大学生活の不安を取り除くための提案、自分の体験談をもとに夢を持てるような話をしてほしい」と専務からアドバイザーへ伝えているそうです。アドバイザーが先輩として責任感をもって取り組んでいる姿が印象的でした。



↑アドバイザーのみなさん

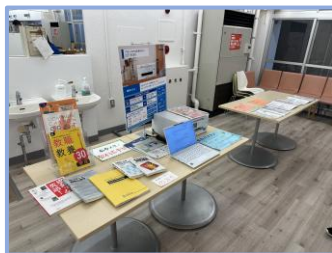
### POINT.6

### 学生の生活に寄り添った大学生協

説明会終了後、600円券を配布し、参加者に食堂体験をしてもらいました。また、食後の住まい紹介のため、グループラインを駆使してアドバイザーの休憩時間や展示ブースの移動などがスムーズに行われていました。

説明会から食堂体験、住まい紹介まで、「**学生の生活に寄り添った大学生協**」というのがとても伝わるサポートセンターでした。

→ 住まい紹介中♪



↑展示ブース→

